

2020年6月26日

独立行政法人国際協力機構（JICA）が発行する「ソーシャルボンド」への投資について

当行は、このたび、独立行政法人国際協力機構（理事長：北岡伸一、以下「JICA」）が発行する「ソーシャルボンド」への投資を決定しましたので、お知らせします。

今後も当行は、地域・社会や環境との共生、経済・企業との安定的な成長共有の観点から、ESG領域における投融資を一層推進してまいります。

記

1. 主 旨 当行は幅広い事業分野において、環境および社会に配慮した取り組みを実践しており、ソーシャルボンドへの投資を通じて、収益性の確保のみならず、SDGsをはじめとする持続可能な社会の実現にも貢献するものです。

2. 債券概要

債券名	第53回 国際協力機構債券（JICA債）（※） ソーシャルボンド
取得格付	AA+（株式会社格付投資情報センター） A+（S&Pグローバル・レーティング・ジャパン株式会社）
年 限	10年（2030年6月26日償還）
発行額	100億円
利 率	0.16%
条件決定日	2020年6月19日
主 幹 事	SMB C日興証券株式会社 大和証券株式会社 BNPパリバ証券株式会社

JICA債で調達された資金は全額がJICAの実施する有償資金協力事業に充てられ、開発途上国の社会課題を解決するための融資に活用されます。主な融資対象は大規模インフラ整備事業や貧困削減、人材育成を目的としたプロジェクト等です。

※JICA債の発行は、日本政府のSDGs達成に向けた実施指針である「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」（2016年12月22日決定）において、具体的な施策の1つに位置付けられました。「SDGs実施指針改定版」（2019年12月20日、一部改訂）においても、「環境・社会・ガバナンスの要素を考慮するESG金融やインパクトファイナンス、ソーシャルファイナンス、SDGsファイナンス等と呼ばれる経済的リターンのみならず社会貢献債としてのJICA債の発行など社会的リターンを考慮するファイナンスの拡大の加速化が、SDGs達成に向けた民間資金動員の上で重要である。」とされており、SDGs達成のために民間資金を動員するツールとして明記されています。

以 上

《本件に関するお問い合わせ》

肥後銀行 市場金融部

担当：山城

電話 096-326-8717

【該当するSDGs】

 <p>1. a</p>	貧困削減のための施策実施
 <p>4. 4</p>	人材育成による知識や技能の定着
 <p>9. a</p>	大規模インフラ整備事業の推進